

NEWS Release

平成 25 年 12 月 19 日

北陸通信ネットワーク株式会社
株式会社 COM-ONE
越屋メディカルケア株式会社

遠隔看護支援協議会の発足について

1. 趣旨

近年の遠隔看護分野では、インターネットなどの遠距離通信の技術を利用して、院内や在宅の医療患者支援のためのシステムづくりが進められていますが、その通信技術は急速な変化の途上であり、日進月歩で変貌しています。

そこで、皮膚障害に対して、よりよい仕組みを院内や在宅の看護ケアの現場に取り入れて活用させることを目的とし、北陸通信ネットワーク株式会社（石川県金沢市、代表者：森 榮一）、株式会社 COM-ONE（石川県能美市、代表者：米田 稔）及び越屋メディカルケア株式会社（石川県金沢市、代表者：宮崎 温）の 3 社で、このほど遠隔看護支援協議会を発足いたしました。

この協議会では、ストーマ*を保有されている患者さんを対象として活動を開始します。現在、対象の患者さんにおかれましては、ストーマ周囲皮膚に障害が起こると、痛みやそれによる日常生活に制約が生じるなど生活の質の低下を招き、その管理には専門的な医学知識が必要で、誰でもが実践できない状況にあるため、この課題を解決する支援システムの開発が急務となってきております。

そこで、ストーマ周囲皮膚の評価方法と支援手順を標準化すること、また、院内や在宅の患者さんを対象に、多施設・多職種が連携して専門的な治療・看護を受けられる支援システムを開発し、事業化することと致します。将来的には、この支援システムを、皮膚障害を保有する全ての患者さんに拡大することを目指します。

*：人工肛門・人工膀胱のこと

2. 団体名

遠隔看護支援協議会

（英語表記：Telenursing Committee）

3. 代表

松島 英章（北陸通信ネットワーク株式会社常務取締役）

4. 主な活動内容

- (1) ストーマ周囲皮膚の評価方法と支援手順の標準化・ルール化
- (2) 院内や在宅の患者さんのための、多施設・多職種が連携して提供する治療や看護を受けられることができる支援システムの研究開発
- (3) その支援システムのフィールド実証実験の実施
- (4) これらの結果を踏まえた支援システムサービスの事業化

5. 活動期間

平成25年12月から平成26年12月までの1年間を予定

6. 参加企業・団体

北陸通信ネットワーク株式会社 (<http://www.htnet.co.jp/>)

株式会社 COM-ONE (<http://www.com-one.com/>)

越屋メディカルケア株式会社 (<http://www.koshiya-mc.com/>)

(アドバイザー) 金沢大学

(アドバイザー) 金沢医科大学

計5者

以上

(本件に関するお問い合わせ)

遠隔看護支援協議会事務局 担当：酒井

Tel 076-269-5604